

**令和４年秋の外国人叙勲
ダラス・ネズビット氏の旭日小綬章受章**

令和４年１１月３日
在オークランド日本国総領事館

令和４年１１月３日、日本政府は、令和４年秋の外国人叙勲受章者を発表し、ハウラキ郡在住のダラス・ネズビット氏が、日本・ニュージーランド間の学術交流及び相互理解の促進に寄与した功績により、旭日小綬章を受章されました。

【参考】外国人叙勲受章者名簿（外務省ホームページ）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/protocol/jokun.html>（日本語）

<https://www.mofa.go.jp/announce/info/conferment/index.html>（英語）

- ・氏名： ダラス・ネズビット(Dallas Nesbitt)
- ・年齢： 67 歳
- ・主要経歴： 元 オークランド工科大学上級講師
 元 ニュージーランド日本研究学会副会長



ダラス・ネズビット氏は約４０年にわたりニュージーランドで日本語教育に従事されてきました。昭和５９年にオークランド工科大学の日本語コースの設立に尽力して以来、同大学における日本語教育の発展に中心的な役割を果たし、両国の架け橋となる人材の教育を通じて人的交流促進に寄与したほか、日本語教科書の執筆や地域における日本語の普及にも取り組み、また、漢字教育や学習動機を中心とした日本語教育法に関する研究活動を通じて、日本語教育の発展に貢献されてきました。

また、ネズビット氏は、ニュージーランドで初となる大学レベルでの全国規模の日本語教育者及び日本研究者のネットワーク団体であるニュージーランド日本研究学会（JSANZ）の設立に尽力し、現在も同学会の業績や日本文化について対外的に発信を行う等、ニュージーランドにおける日本語教育・日本研究の発展に取り組まれています。

（了）